

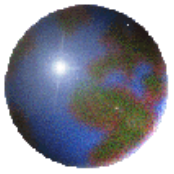


中国における人材育成動向と 日中品質意識差異について

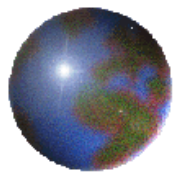
東忠集団

副総裁 事業発展部 総経理

堀池武史



I. 中国における人材育成動向



中国における人材育成動向

現
状

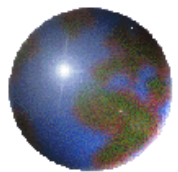
中国には人材育成における教育機関は多い

殆どは技術教育、理論教育である

教育後もビジネスの実践には使えない



現在は実践的な教育が必要とされている



中国における人材育成動向

受

講

側

現在は教育に対して単純にお金を使わない



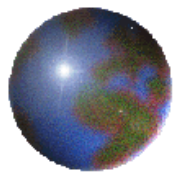
以下のメリットがあれば、教育を受ける

- ・大学など国の指定した卒業証書などがある
- ・世界基準の認定資格が取れる

但し、就職などに有利なことが条件



つまり、就職などに確実に有利であれば受講する



中国における人材育成動向

企
業
側

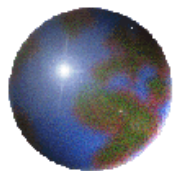
企業側は経験者を募集したがる
新卒など優秀でも未経験者をあまり募集しない



現在、経験者の取り合いがあり離職率もアップ
新卒の希望職種に対する就職率は50%程度



今後は企業が教育費を負担して社員育成する？



東忠開発基地機能構成図(日本向けビジネスプラットフォーム)

日本IT市場・その他IT市場

NEC集团 NECST	トヨタ集团 AISIN AW	VJC	NTT集团 NTT DATA	富士通集团 CEC	YS集团 YSL	大和集团 DAIWA	SOLXYZ	SURESOFIT	OEC	AEON	J-MODE	Phalanx	その他日本企業
----------------	-------------------	-----	-------------------	--------------	-------------	---------------	--------	-----------	-----	------	--------	---------	---------

NECST 杭州	AISIN AW 杭州	VJC 杭州	NTT DATA 杭州	CEC 杭州	YSL 杭州	DAIWA 杭州	SOLXYZ 杭州	SURESOFIT 杭州	OEC 杭州	AEON 杭州	J-MODE 杭州	Phalanx 杭州	その他業務 その他合併企業 開発業務確保
世界TOP 500	世界TOP 500	日本上場企業	世界TOP500	世界TOP500	日本上場企業	日本上場企業	日本有名企業	韓国有名企業	日本有名企業	日本有名企業	日本有名企業	日本有名企業	

東忠
IT実用型
人材育成
・
その他
人材育成

NEC 向け開発 事業	AISIN AW 向け開発 事業	VJC 向け開発 事業	NTT DATA 向け開発 事業	CEC 向け開発 事業	YSL 向け開発 事業	DAIWA 向け開発 事業	SOLXYZ 向け開発 事業	SURESOFIT 向け開発 事業	OEC 向け開発 事業	AEON 向け開発 事業	J-MODE 向け開発 事業	Phalanx 向け開発 事業	その他 開発事業
-------------------	------------------------	-------------------	------------------------	-------------------	-------------------	---------------------	----------------------	-------------------------	-------------------	--------------------	----------------------	-----------------------	-------------

日本IT市場を中心
に、東忠グループが
中国に大規模オフショ
ア開発基地を構築し
、中国ソフトウェア輸出
都市建設に大きく
貢献

東忠集団（杭州オフショア）

市場サポート

さくらフォーラム
中国市場開拓支援

人材サポート

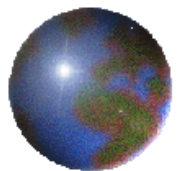
高級人材雇用支援政策
(住・税・引越費)
外国専門家来杭指導費用支援政策
人材育成費用支持政策

政策サポート

オフィス優遇政策
開発・教育等インフラ建設優遇政策

中国大規模ソフトウェアオフショア開発基地

中国国内IT市場

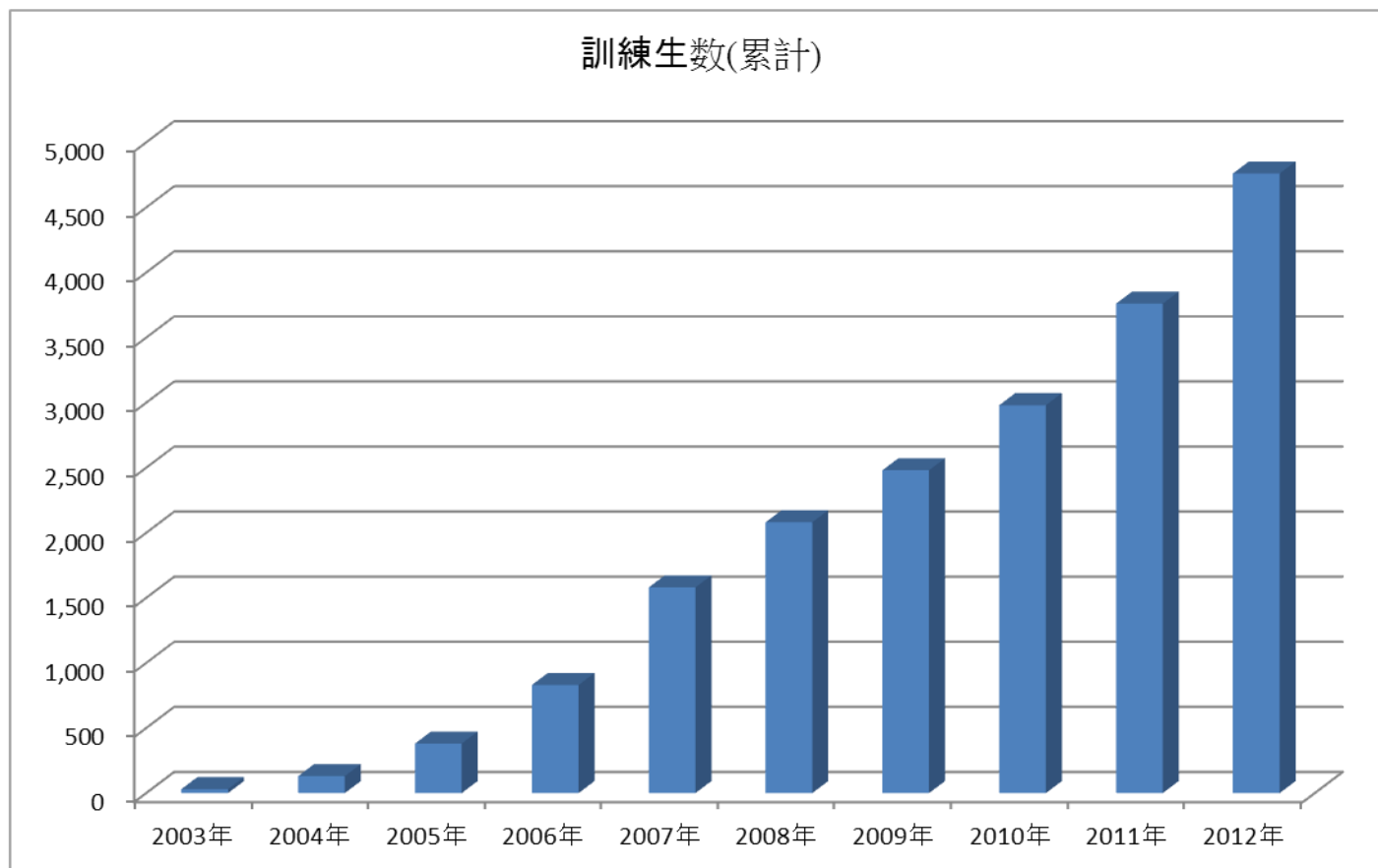


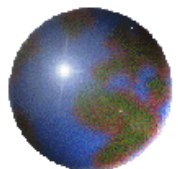
東忠人材育成学校:実用型IT基礎人材開発 展開状況

- 提携大学
浙江工業大学
中国計量大学
杭州電子科技大学
浙江大学城市学院

- 訓練生数
2011年末まで
3,700名超
2012年計画数
1,000名

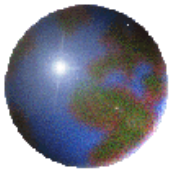
- 訓練期間、内容
6ヶ月
徹底実用型
日本語3級
開発技術
品質管理



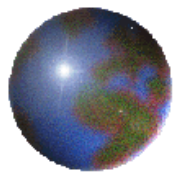


東忠人材育成学校:日本人向け海外研修

NO	研修内容	研修内容	時間(h)	達成目標
1	中国語	中国語のピン韻 日常会話 200句	28	中国語のピン韻の習得 日常会話 200句の習得
2	開発現場実践体験	オフショアプロジェクト開発を実践する (開発手順、進捗管理、品質管理)	20	オフショア側プロジェクト開発流れの理解 オフショア側プロジェクト品質管理方法の理解
3	中日文化差異認識	特訓: 一日 (8:00-18:00) 講義: 4回 - 中国オフショア発展現状 - 中日品質意識差異の紹介 - NTTD(杭州)発展戦略 - 中国オフショア市場戦略	19	中国のパワー、規模感の了解 中日文化の差異の理解 チームワーク意識の養成
4	中国生活体験	ホームステイ 杭州市内視察 上海市内視察	39	中国文化、生活の体験 中日文化の差異の理解
5	現場要員交流	合併会社の見学、交流(事業部PL以上要員) 懇親会(経営層)	7	オフショア開発企業についての理解を深める こと
6	研修感想纏め	朝礼、感想文の作成	31	研修中に感じたこと、学んだことを毎日書いて、整理して、情熱、モチベーションを高めさせること
		研修発表(チーム単位)	11	今後の実際のオフショア開発に生かせるように、研修の成果をまとめて、自分の物にすること。
		開講式、卒業式	2	



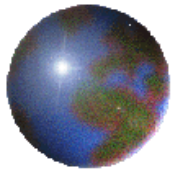
Ⅱ. 日中品質意識差異について



杭州開発基地について

1998年、東忠は将来を考え、静かでじっくりと人を育成出来る場所として杭州を開発基地として選択したが・・・

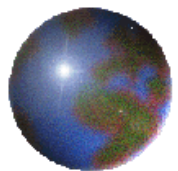




中国戸籍制度

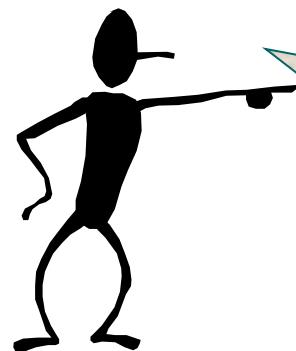
戸籍上に書かれている項目

- 適用範囲（省または特別区）
- 民族（漢民族または少数民族）
- 人口種別（農民人口または都会人口）



オフショア開発の 一番の問題点は文化と判断基準の差

リンゴの大きさ、形の
仕様を決める一例



リンゴを日本に
輸入したい

(あいまいな仕様)

(日本の実態)

形や大きさは平均的、きれいに並べて販売
されている

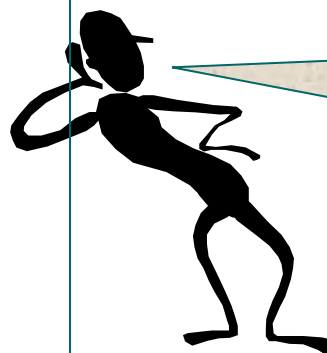


論外！

失敗

納品

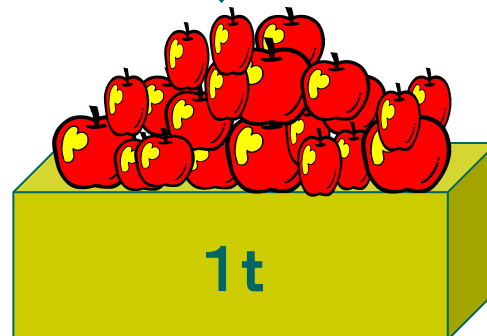
「開発手順書」が「仕組」として定着していない会社



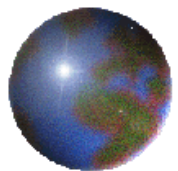
了解！
タイに輸出した
経験があるから
OK！

(中国の実態)

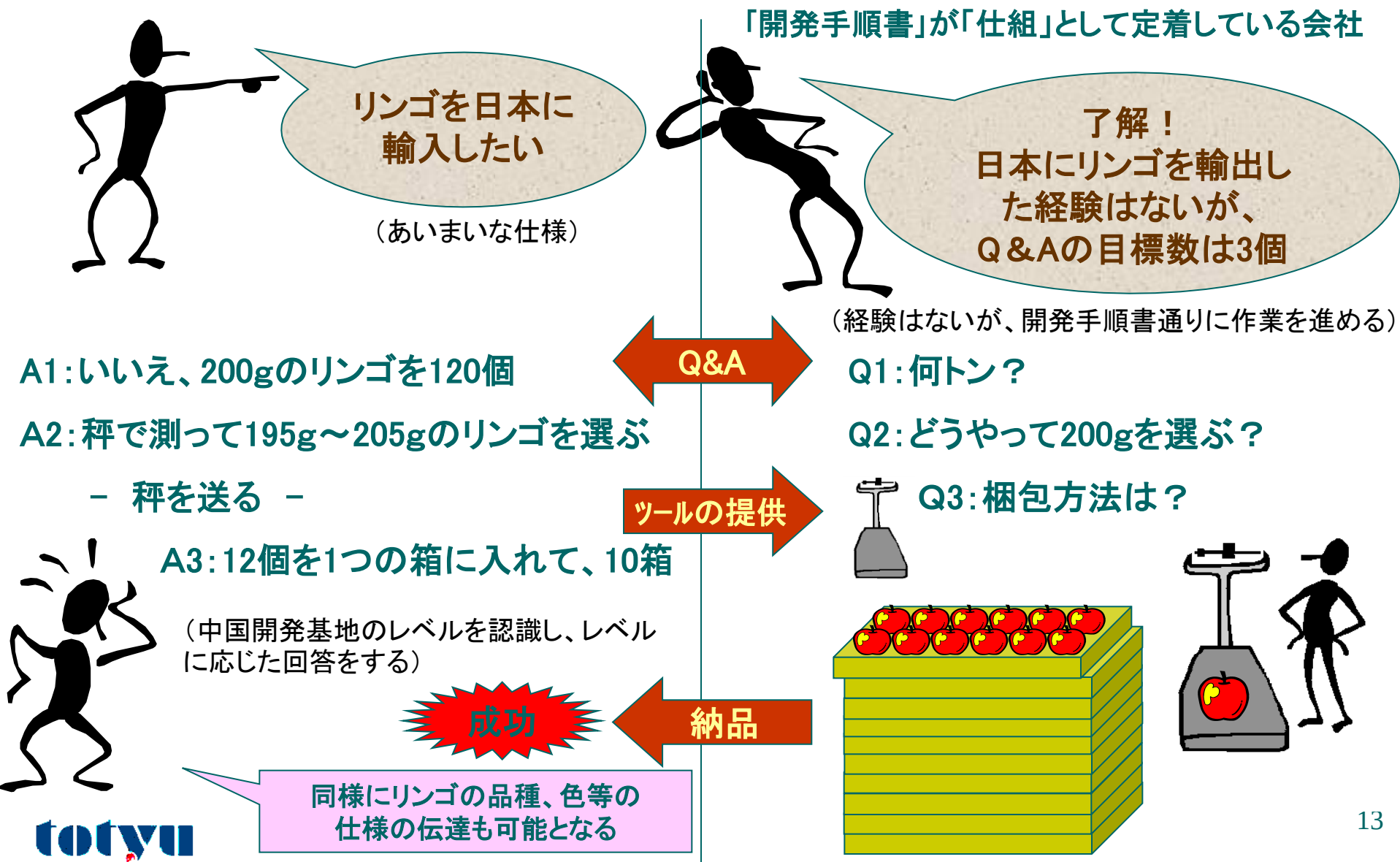
中国のスーパーでは、
形も大きさもバラバラ
なリンゴが山積みで販
売されている

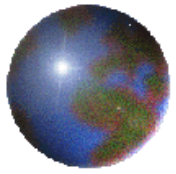


(個人の経験を元に仕様理解して納品)



文化と判断基準の差を埋める方法





価値判断基準

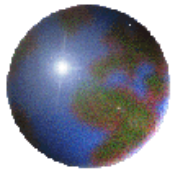
何故、中国ではりんごを秤で計って売るのが？

(お客側)

1. 自分の目で確かめたい
2. 信用出来ない(腐っているかもしれない)
3. 安くて一番いい物を選びたい
4. 大きいのも小さいのも買う人の好みで買いたい

(お店側)

1. 安いのに1個1個仕分けて包装は意味がない
2. 物が豊富だから余ってもいいから沢山売りたい



価値判断基準

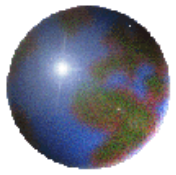
何故、日本では1個1個で売るのが？

(お客側)

1. 選ぶ時間がもったいない、時間がない
2. 信用するから腐っていない保証をしてくれればいい
3. 品質レベルを値段分けしてくれれば買いやすい

(お店側)

1. 人件費が高いから簡単に売りたい
2. 仕入れたりんごは包装してなるべく無駄にたくない



価値判断基準

価値判断基準ってなに？

それぞれの立場の価値観を基にした上での判断基準

現在の中国での価値観

(いろいろな種類のりんごを選んだ方が売り買いしやすい)

判断
基準

秤で計って売る

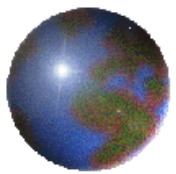
差異

現在の日本での価値観

(はじめてから仕分けした方が売り買いしやすい)

判断
基準

一個一個で売る

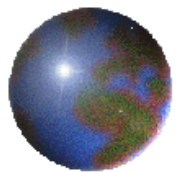


相互差異認知の考え方

日本人と中国人は顔が似ている⇒差異に気付かない
差異を気付く方法にはどんな方法がある？

- | | | |
|-------|---|--------------------|
| 目で見ると | → | お客様が杭州へ来て見る |
| 耳で聞く | → | 日本語を話させて確認する |
| 質問する | → | 質問して日本の業務認知をチェックする |
| 確認する | → | サンプルを作成させ理解を確認する |
| 説明する | → | 理解した仕様を説明させる |
| 提案する | → | 良いと思う方法を提案させる |

東忠の品質保証の仕組みにはお互いに気付かせる仕組みが
沢山入っている(プロセス、管理方法、テンプレート、チェック方法)



品質意識は生活レベルと比例する

ある日、中国の友人のマンションに招待された。
部屋は180㎡でリビングは20畳、大きなテレビがある。
とても豪華な住まいですが...

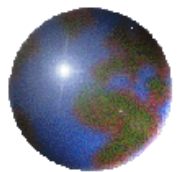
3時間も居ると

壁の塗りにムラがある

トイレの戸が閉まりにくい

窓に隙間風を感じる ...

原因は時代の流れと関係がある ⇒ 15年前の中国の生活

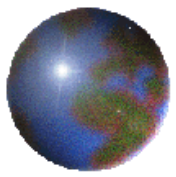


価値判断基準の差の理由

差異が出る主な理由は以下の通りです。

文化	<	政治	<	環境	<	発展度
10%		10%		20%		60%

発展度の差異は徐々に追いついていく



まとめ

全てを日本企業側で行うとコストは高くなる
中国側には実践を踏んだ教育者がいない
⇒日本のノウハウを中国側に実施させる



中国でビジネスを行う場合（教育ビジネスも同様）
やはり価値判断基準の差異が問題となる



上記差異は時代とともに変わって行くが、同時に
ライバルも増えて行く⇒早い時点で形を作る



ご清聴有難うございます
今後も宜しくお願い申し上げます

